

平成28年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 原田工業株式会社

コード番号 6904 URL <http://www.harada.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原田 章二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総合企画部長兼管理本部長 (氏名) 佐々木 徹

TEL 03-3765-4321

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	31,750	9.1	414	△45.2	124	△87.3	△144	—
27年3月期第3四半期	29,092	10.0	755	△27.8	976	△22.9	461	△44.0

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 △301百万円 (—%) 27年3月期第3四半期 293百万円 (△82.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	△6.64	—
27年3月期第3四半期	21.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
28年3月期第3四半期	32,535		13,081		40.2	601.40		
27年3月期	34,060		13,545		39.8	622.74		

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 13,081百万円 27年3月期 13,545百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
28年3月期	—	0.00	—		
28年3月期(予想)				7.50	7.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	5.6	350	△59.6	50	△94.9	20	△94.2	0.92

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	21,758,000 株	27年3月期	21,758,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	6,545 株	27年3月期	5,984 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	21,751,612 株	27年3月期3Q	21,752,533 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結貸借対照表関係注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では、原油価格の低下や輸出の伸び悩み等による経済への影響はありましたが、雇用、所得環境の改善を背景とした緩やかな拡大基調が続いております。欧州では、金融緩和の強化や雇用、所得環境の改善を背景とした個人消費の堅調な拡大により緩やかな回復が続いております。アジアにおいては、中国では個人消費の堅調な拡大により持ち直しの動きがみられたものの、製造業の不調や輸出・輸入の伸びの鈍化等により景気の減速傾向が続いております。また、アセアン地域においては総じて足踏み状態となっております。先行きにつきましては、中国をはじめとするアジア経済の減速傾向は続くものの、欧米を中心に緩やかな回復が期待されます。

日本国内経済につきましては、個人消費等一部に弱さがみられたこともあり回復のペースは緩やか推移しました。先行きにつきましては、緩やかな回復が期待されますが、中国をはじめとするアジア経済の減速傾向による影響も懸念されます。

当社グループの属する自動車業界におきましては、自動車の生産台数が日本、アセアン地域では減産と、中国、欧州、北米では増産となり、世界の自動車生産台数は前年同期に比べ微増となりました。

このような状況のもと、長期ビジョンである「HARADA NEXSTAGE 19」達成のための二つの柱である「競争の優位性の強化」と「最適な企業基盤の確立」を目指し、各領域における施策を推進してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、一部地域での低迷はありましたが、拡販活動や為替の影響等により317億50百万円（前年同期比9.1%増）となりました。利益面につきましては、中長期的なグループ全体のコスト改善を実現するため生産バランスの最適化を目指し、主としてアジア地域の製造子会社間で実施した生産移管に伴う一時的な物流経費及び生産の安定化に向けた費用の発生により売上原価率が上昇いたしました。しかしながら、当第3四半期連結会計期間において、生産の安定化や徹底したコストダウン等の諸政策の実施により収益性が改善し、営業利益は4億14百万円（同45.2%減）となりました。経常利益は第1四半期連結会計期間において生産移管に伴う人員の適正化を実施し、支払補償費を計上したこともあり1億24百万円（同87.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億44百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益4億61百万円）となりました。

当期の業績につきましては、下期に入り改善の傾向にありますが、今後も海外工場の生産性を高めるための対応等を検討してまいります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

自動車生産台数は減少したものの、拡販活動により、外部売上高は90億73百万円（前年同期比2.1%増）、セグメント間の内部売上高は32億89百万円（同5.8%増）、営業利益は売上高の増加及び販管比率の改善により6億23百万円（同30.0%増）となりました。

②アジア

アジア市場は自動車生産台数の増加に反し低迷をいたしました。為替の影響等により、外部売上高は82億86百万円（同7.7%増）、セグメント間の内部売上高は102億53百万円（同1.2%減）、営業損失は改善傾向にあるものの、アジア地域の製造子会社間で実施している生産移管に伴い一時的に物流経費及び生産の安定化に向けた費用の発生による売上原価率の上昇により5億56百万円（前年同期は営業利益1億35百万円）となりました。

③北中米

米国及びメキシコの市場回復傾向及び為替の影響等により、外部売上高は111億20百万円（前年同期比14.8%増）、セグメント間の内部売上高は72百万円（同6.2%増）、営業利益は4億10百万円（同104.2%増）となりました。

④欧州

欧州市場での拡販活動及び為替の影響等により、外部売上高は32億69百万円（同15.7%増）、セグメント間の内部売上高は12百万円（同61.6%減）、営業損失は1億60百万円（前年同期は営業損失1億29百万円）となりました。

なお、セグメントの売上については外部顧客に対する売上高とセグメント間の内部売上高を記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループは財務体質の改善目標として営業利益率など収益性の改善ももちろんのことですが、当社グループの課題である経営の安全性を高めるため、有利子負債の削減、たな卸資産の圧縮、自己資本の充実等に努めてまいりました。この結果、次のとおりの財政状態となりました。

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、247億8百万円（前連結会計年度末266億12百万円）となり、19億4百万円減少いたしました。

主に、「受取手形及び売掛金」が3億90百万円増加し、「現金及び預金」が13億9百万円、「原材料及び貯蔵品」が6億53百万円減少いたしました。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、78億26百万円（前連結会計年度末74億47百万円）となり、3億79百万円増加いたしました。

主に、「有形固定資産」が3億71百万円増加いたしました。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、149億54百万円（前連結会計年度末163億28百万円）となり、13億74百万円減少いたしました。

主に、「電子記録債務」が6億5百万円増加し、「支払手形及び買掛金」が9億56百万円、「短期借入金」が7億66百万円減少いたしました。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、44億99百万円（前連結会計年度末41億85百万円）となり、3億13百万円増加いたしました。

主に、「長期借入金」が3億47百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、130億81百万円（前連結会計年度末135億45百万円）となり、4億64百万円減少いたしました。

主に、「利益剰余金」が3億7百万円、「為替換算調整勘定」が1億57百万円減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期連結業績予想につきましては、平成27年11月12日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,920,721	4,611,606
受取手形及び売掛金	7,880,549	8,271,315
商品及び製品	5,475,904	5,389,807
仕掛品	595,250	821,893
原材料及び貯蔵品	4,617,616	3,964,277
その他	2,139,816	1,665,854
貸倒引当金	△17,004	△16,578
流動資産合計	26,612,854	24,708,177
固定資産		
有形固定資産	5,042,784	5,414,746
無形固定資産	404,489	416,582
投資その他の資産		
その他	2,002,357	1,997,999
貸倒引当金	△2,405	△2,405
投資その他の資産合計	1,999,951	1,995,594
固定資産合計	7,447,226	7,826,923
資産合計	34,060,080	32,535,100
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,103,778	3,147,721
電子記録債務	—	605,480
短期借入金	9,501,375	8,735,063
1年内返済予定の長期借入金	725,000	725,000
賞与引当金	289,503	216,711
役員賞与引当金	30,800	9,788
その他	1,678,051	1,514,712
流動負債合計	16,328,508	14,954,477
固定負債		
長期借入金	3,562,500	3,910,000
退職給付に係る負債	241,799	201,586
その他	381,477	387,755
固定負債合計	4,185,777	4,499,342
負債合計	20,514,285	19,453,820
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,019,181	2,019,181
資本剰余金	1,859,981	1,859,981
利益剰余金	8,722,272	8,414,775
自己株式	△2,007	△2,164
株主資本合計	12,599,427	12,291,773
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,259	37,877
為替換算調整勘定	972,407	814,634
退職給付に係る調整累計額	△63,300	△63,005
その他の包括利益累計額合計	946,366	789,506
純資産合計	13,545,794	13,081,280
負債純資産合計	34,060,080	32,535,100

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	29,092,130	31,750,404
売上原価	22,385,758	24,862,059
売上総利益	6,706,372	6,888,344
販売費及び一般管理費	5,951,173	6,474,198
営業利益	755,199	414,146
営業外収益		
作業くず売却益	25,759	24,229
受取保険料	40	20,557
為替差益	239,987	—
その他	93,723	50,170
営業外収益合計	359,510	94,957
営業外費用		
支払利息	117,425	103,381
支払補償費	—	105,681
為替差損	—	164,759
その他	20,489	11,281
営業外費用合計	137,915	385,103
経常利益	976,794	124,000
特別利益		
固定資産売却益	5,290	4,397
その他	44	—
特別利益合計	5,334	4,397
特別損失		
減損損失	7,958	2,346
固定資産除却損	7,127	8,178
その他	4,428	545
特別損失合計	19,514	11,069
税金等調整前四半期純利益	962,614	117,327
法人税、住民税及び事業税	138,905	210,542
法人税等調整額	362,509	51,141
法人税等合計	501,414	261,684
四半期純利益又は四半期純損失(△)	461,199	△144,356
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	461,199	△144,356

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	461,199	△144,356
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,295	618
為替換算調整勘定	△181,820	△157,773
退職給付に係る調整額	△1,938	294
その他の包括利益合計	△167,463	△156,860
四半期包括利益	293,736	△301,216
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	293,736	△301,216
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係注記)

偶発債務（訴訟関係）

当社グループと取引のある保定長城汽車股份有限公司（以下、「長城汽車」という。）は、中国に本社のある泰州蘇中天線集団公司（以下、「蘇中天線」という。）より、長城汽車のシャークフィンアンテナが蘇中天線の所有する特許を侵害しているとして、当該特許技術を利用した製品の製造、販売に関する行為の差し止め等及び損害賠償（6,000万人民元）を請求する訴訟を南京裁判所に提起されております。

当社の連結子会社である上海原田新汽車天線有限公司（以下、「上海原田」という。）は、当該製品の一部を、平成25年5月14日より長城汽車に対して製造・販売しております。これにより、平成27年6月26日付で、上海原田は、長城汽車との間に締結している取引基本契約による紛争解決義務に基づき、長城汽車とともに当該訴訟の共同被告になっております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成26年4月1日至平成26年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北中米	欧州	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	8,885,395	7,697,275	9,683,287	2,826,172	29,092,130	—	29,092,130
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,110,077	10,382,661	68,639	32,622	13,594,000	△13,594,000	—
計	11,995,472	18,079,936	9,751,927	2,858,794	42,686,131	△13,594,000	29,092,130
セグメント利益又は損失(△)	480,043	135,159	201,140	△129,710	686,632	68,566	755,199

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額68,566千円は、セグメント間取引消去であります。
 2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「日本」及び「アジア」セグメントにおいて、今後の使用見込みがたたない遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、「日本」が5,763千円、「アジア」が2,195千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成27年4月1日至平成27年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北中米	欧州	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	9,073,876	8,286,825	11,120,102	3,269,599	31,750,404	—	31,750,404
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,289,807	10,253,882	72,865	12,531	13,629,087	△13,629,087	—
計	12,363,683	18,540,707	11,192,968	3,282,130	45,379,491	△13,629,087	31,750,404
セグメント利益又は損失(△)	623,866	△556,473	410,688	△160,664	317,416	96,730	414,146

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額96,730千円は、セグメント間取引消去であります。
 2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「日本」及び「アジア」セグメントにおいて、今後の使用見込みがたたない遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、「日本」が2,123千円、「アジア」が222千円であります。